

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和6年11月21日(2024.11.21)

【国際公開番号】WO2022/124357

【出願番号】特願2022-568323(P2022-568323)

【国際特許分類】

C 0 9 J 1 2 3 / 2 2 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 9 J 1 2 3 / 2 6 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 9 J 1 2 1 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 9 J 1 5 1 / 0 4 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 9 J 1 5 1 / 0 6 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 9 J 7 / 3 8 (2 0 1 8 . 0 1)

10

【 F I 】

C 0 9 J 1 2 3 / 2 2

C 0 9 J 1 2 3 / 2 6

C 0 9 J 1 2 1 / 0 0

C 0 9 J 1 5 1 / 0 4

C 0 9 J 1 5 1 / 0 6

C 0 9 J 7 / 3 8

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年11月11日(2024.11.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

30

(A) エポキシ基と酸無水物基および/またはカルボキシ基との反応によって形成された架橋構造を有するイソブテン系重合体、並びに

(B) 2価以上の金属を中心金属とするアルコキシド、2価以上の金属を中心金属とするカルボキシレート、および2価以上の金属を中心金属とするキレート化合物からなる群から選ばれる少なくとも一つ

を含む粘着組成物であって、

前記イソブテン系重合体が、側鎖として、炭素数が6以上のアルキル基を有するアルキル(メタ)アクリレートに由来する構成単位を含む重合体鎖を有する粘着組成物。

【請求項2】

前記イソブテン系重合体中の、炭素数が6以上のアルキル基を有するアルキル(メタ)アクリレートに由来する構成単位の濃度が、0.005~5mmol/gである請求項1に記載の粘着組成物。

40

【請求項3】

前記イソブテン系重合体が、

(a1) エポキシ基を有するイソブテン-イソプレン共重合体と、酸無水物基および/またはカルボキシ基を有するオレフィン系重合体との反応生成物、並びに

(a2) 酸無水物基および/またはカルボキシ基を有するイソブテン-イソプレン共重合体と、エポキシ基を有するオレフィン系重合体との反応生成物からなる群から選ばれる少なくとも一つであり、並びに

前記イソブテン-イソプレン共重合体および前記オレフィン系重合体の少なくとも一つ

50

が、側鎖として、炭素数が6以上のアルキル基を有するアルキル(メタ)アクリレートに由来する構成単位を含む重合体鎖を有する請求項1に記載の粘着組成物。

【請求項4】

前記イソブテン系重合体が、

(a3) エポキシ基、および炭素数が6以上のアルキル基を有するアルキル(メタ)アクリレートに由来する構成単位を含む重合体鎖を側鎖として有するイソブテン-イソプレン共重合体と、酸無水物基および/またはカルボキシ基を有するオレフィン系重合体との反応生成物、

(a4) 酸無水物基および/またはカルボキシ基、並びに炭素数が6以上のアルキル基を有するアルキル(メタ)アクリレートに由来する構成単位を含む重合体鎖を側鎖として有するイソブテン-イソプレン共重合体と、エポキシ基を有するオレフィン系重合体との反応生成物、並びに

(a5) エポキシ基、および炭素数が6以上のアルキル基を有するアルキル(メタ)アクリレートに由来する構成単位を含む重合体鎖を側鎖として有するイソブテン-イソプレン共重合体と、酸無水物基および/またはカルボキシ基、並びに炭素数が6以上のアルキル基を有するアルキル(メタ)アクリレートに由来する構成単位を含む重合体鎖を側鎖として有するイソブテン-イソプレン共重合体との反応生成物

からなる群から選ばれる少なくとも一つである請求項1に記載の粘着組成物。

【請求項5】

前記オレフィン系重合体が、イソブテン系重合体である、請求項3または4に記載の粘着組成物。

【請求項6】

前記オレフィン系重合体が、イソブテン-イソプレン共重合体である、請求項3または4に記載の粘着組成物。

【請求項7】

2価以上の金属が、周期表第4族の金属または周期表第13族の金属である請求項1に記載の粘着組成物。

【請求項8】

2価以上の金属が、アルミニウム、チタンまたはジルコニウムである請求項1に記載の粘着組成物。

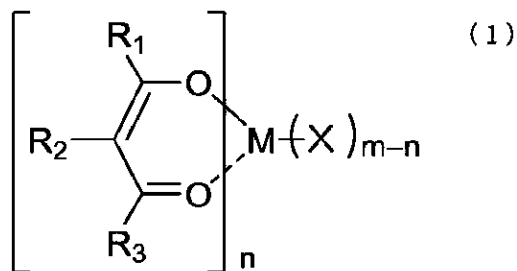
【請求項9】

成分(B)が、2価以上の金属を中心金属とするキレート化合物である請求項1に記載の粘着組成物。

【請求項10】

成分(B)が、下記式(1)：

【化1】



[式(1)中、

Mは、2価以上の金属を表し、

R₁およびR₃は、それぞれ独立に、水素原子、アルキル基、アルケニル基、アルキニル基、アルコキシ基、アルケニルオキシ基、アリール基、またはアラルキル基を表し、

R₂は、水素原子、アルキル基、アルケニル基、アルキニル基、アルコキシ基、アルケニ

10

20

30

40

50

ルオキシ基、アルコキシカルボニル基、アリール基、またはアラルキル基を表し、
 Xは、単座配位子を表し、
 式(1)中の[]内の酸素原子(O)とMとの間の実線は共有結合を表し、
 式(1)中の[]内の酸素原子(O)とMとの間の破線は配位結合を表し、並びに
 mは、3または4を表し、nは、0~4の整数を表し、 $m \geq n$ である。]
 で表される金属錯体である請求項1に記載の粘着組成物。

【請求項11】

Mが、アルミニウム、チタンまたはジルコニウムであり、
 R_1 および R_3 の一つが、アルキル基、アルコキシ基またはアルケニルオキシ基であり、
 残りの一つがアルキル基であり、
 R_2 が、水素原子であり、
 Xが、アルコキシドアニオンまたはカルボキシレートアニオンであり、並びに
 mが、3または4であり、nが、1~3の整数であり、および $m > n$ である
 請求項10に記載の粘着組成物。

10

【請求項12】

Mが、アルミニウムまたはジルコニウムである請求項10または11に記載の粘着組成物。

【請求項13】

(C)液状ポリオレフィン系樹脂および/または液状ゴムをさらに含む請求項1に記載
 の粘着組成物。

20

【請求項14】

請求項1~13のいずれか一項に記載の粘着組成物から形成された粘着組成物層、およ
 び支持体を含む積層構造を有する粘着シート。

【請求項15】

フレキシブル電子デバイスの製造で使用される請求項14に記載の粘着シート。

30

40

50